

図6. 20歳未満へのOC処方量の増減傾向は？

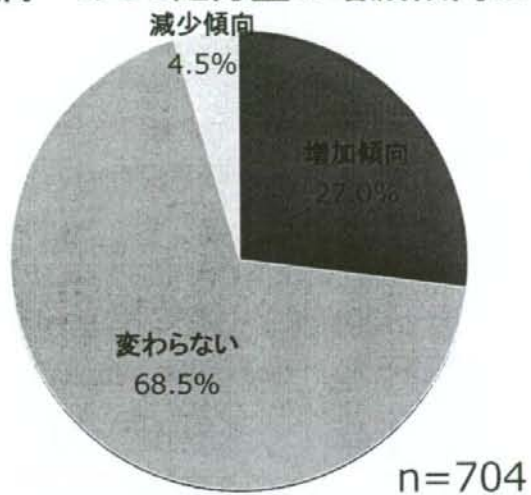


図7. OC処方数の多い年代

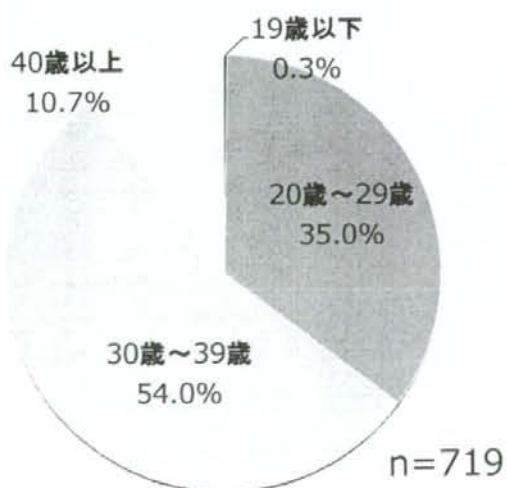


図8. 1ヶ月あたりでOC服用にかかる経費

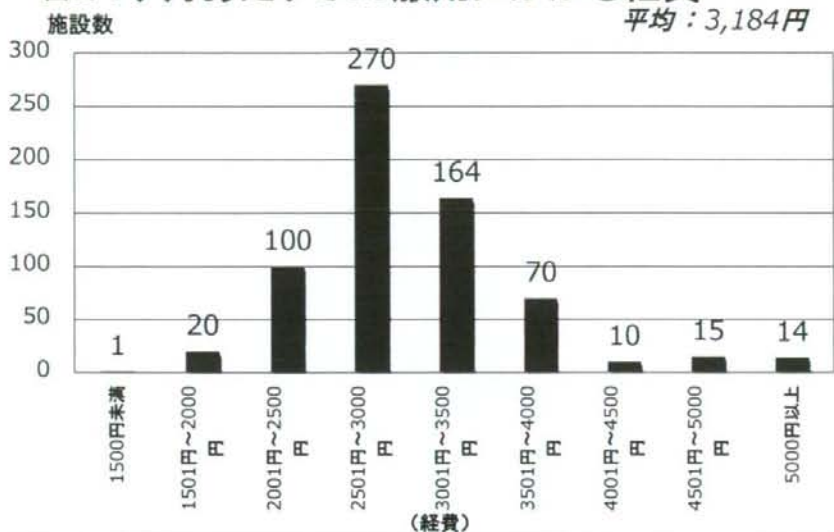


図9. 1ヶ月間の平均IUD処置件数

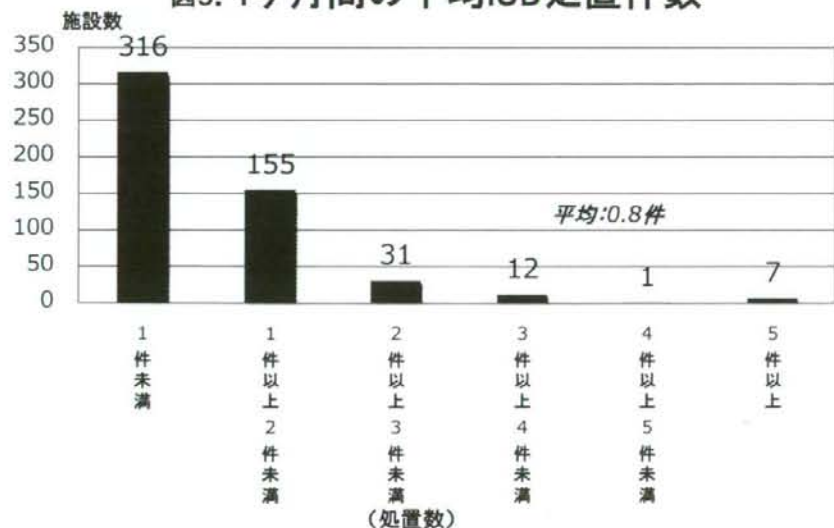


図10. 前年に比べて、IUD処置件数の増減傾向は？

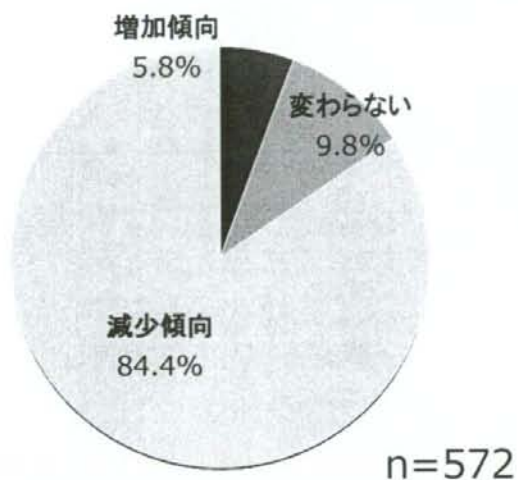


図11. 1ヶ月間の平均EC処置分布

施設数

平均:5.2回/月

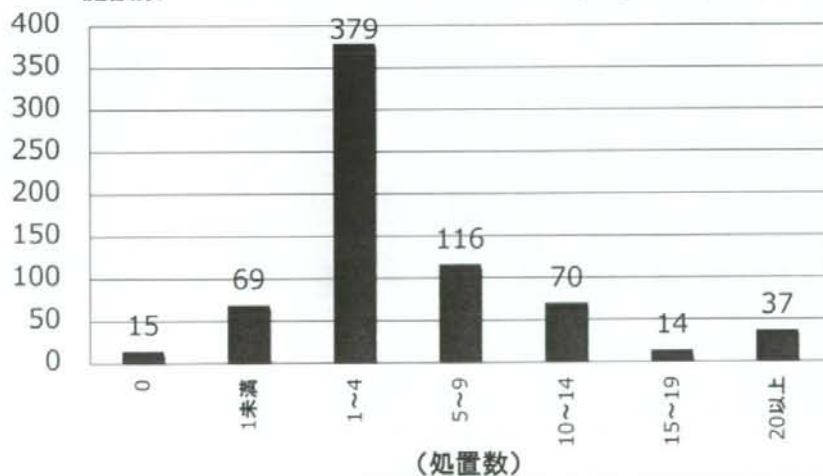


図12. 前年に比べて、EC処置数の増減傾向は？

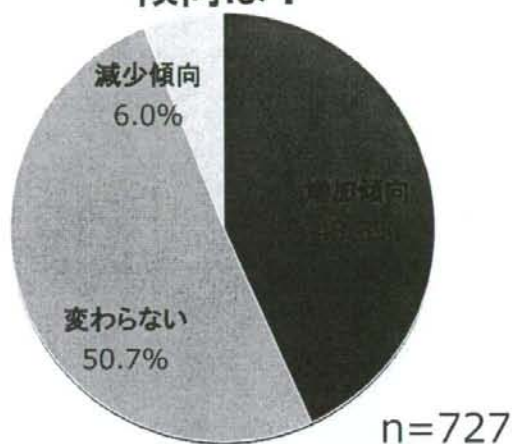


図13. 緊急避妊1回にかかる経費

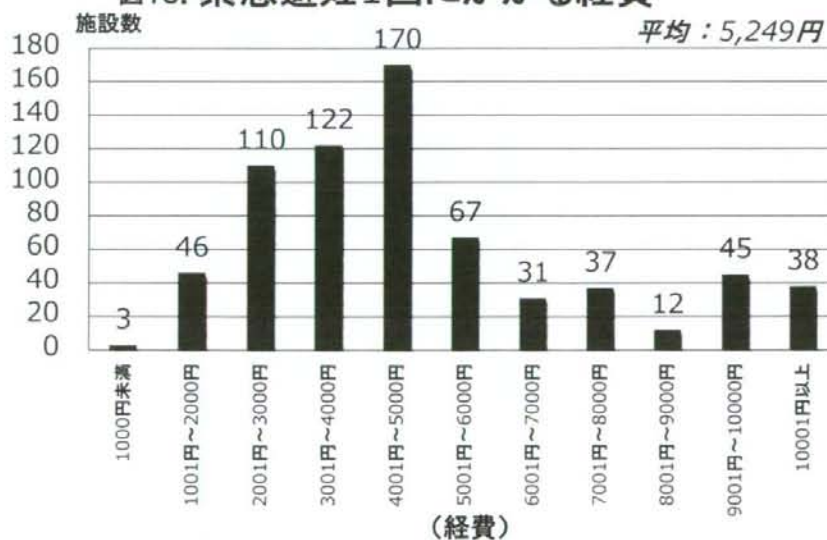


図14. 緊急避妊からOCへの移行割合

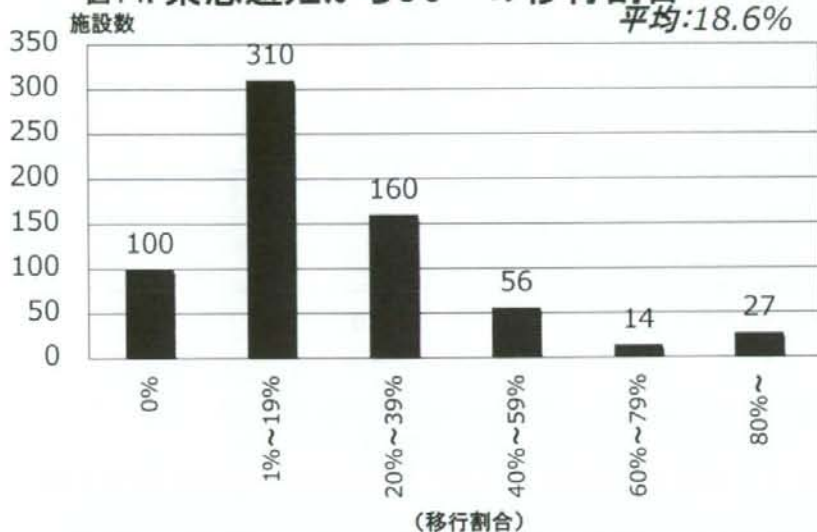


図15. 緊急避妊からOCへの移行割合

1ヶ月間のOC処方数	件数	緊急避妊からOCへの移行割合
1~49シート	263	13.7%
50~99シート	124	17.7%
100~199シート	100	20.8%
200~499シート	71	26.7%
500シート以上	32	38.9%
TOTAL	667	18.6%

表5. 避妊開始1年目の避妊失敗率(妊娠率)

避妊法	理想的な使用*(%)	一般的な使用**(%)	1年間の継続率(%)
ピル(OC)	0.3	8	68
コンドーム	2	15	53
殺精子剤	18	29	42
ペッサリー	6	16	57
薬物添加IUD	0.1~0.6	0.1~0.8	78~81
リズム法	1~9	25	51
女性避妊手術	0.5	0.5	100
男性避妊手術	0.1	0.15	100
避妊せず	85	85	

*理想的な使用とは:選んだ避妊法を正しく続けて使用している場合

**一般的な使用とは、飲み忘れを含め一般的に使用している場合

Trussell J. Contraceptive efficacy. In Hatcher RA, Trussell J, Stewart F, Nelson A, Cates W, Guest F, Kowal D. Contraceptive Technology: Eighteenth Revised Edition. New York NY: Ardent Media, 2004.

図16. 避妊法選択にかかる経費(US \$)

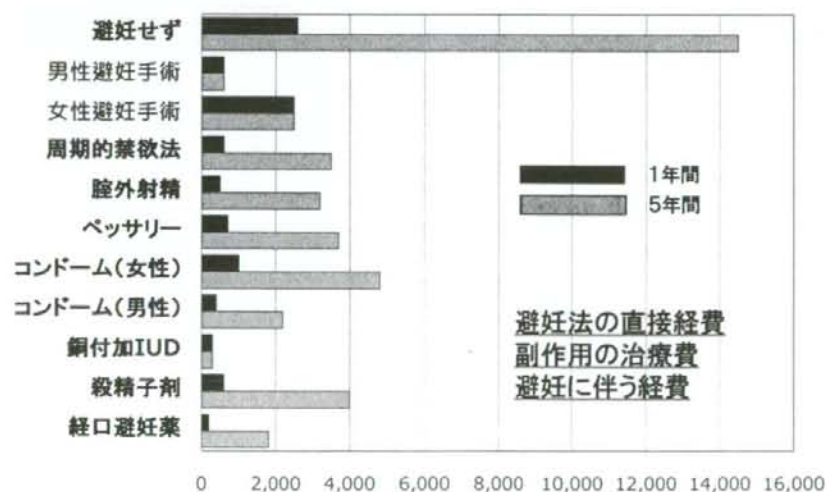


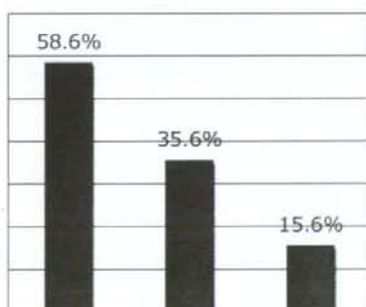
表6. 初交時と最近の避妊法選択

初交時の避妊法選択	年齢	注射法/ 皮下埋没法 /IUD	ピル	コンドーム	他の方法	避妊せず	合計
スウェーデン(1991)	16-18	0	13	41.0	24	22.0	100
フランス(1994)	15-17	0	15.1	66.5	7.1	11.3	100
英国(1990-1991)	16-19	0	12.5	61.4	5.1	21.0	100
米国(1995)	15-19	0.5	8.0	62.8	4.0	24.7	100
最近の避妊法選択							
スウェーデン(1991)	18-19	2.1	49.9	24.1	17.3	6.5	100
カナダ(1995**)	15-19	0	59.2	28.4	0.6	11.9	100
フランス(1994)	15-19	*	63.7	*	23.1*	*	100
英国(1990-1991)	16-19	1.3	67.5	23.3	3.8	4.1	100
米国(1995)	15-19	9.3	32.5	33.0	5.2	20.0	100

(The Alan Guttmacher Institute, 2001)

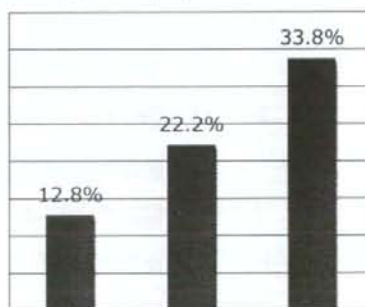
図17. OCの使用率と中絶割合

OCの使用率(%)



ドイツ フランス アメリカ

合法的人工妊娠中絶数
対出生比(%)



ドイツ フランス アメリカ

出典: World Contraceptive Use 2005. United Nations/

出典: UN, Demographic Yearbook. 対出生比は出生100に最新年次のもの(ドイツ1995年、フランス1993年、アメリカ1991年)

図18. OC売上動向と人工妊娠中絶実施件数の推移

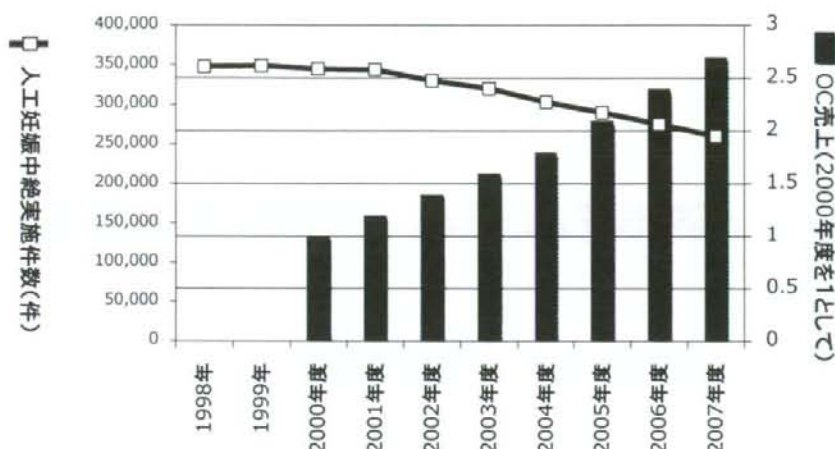
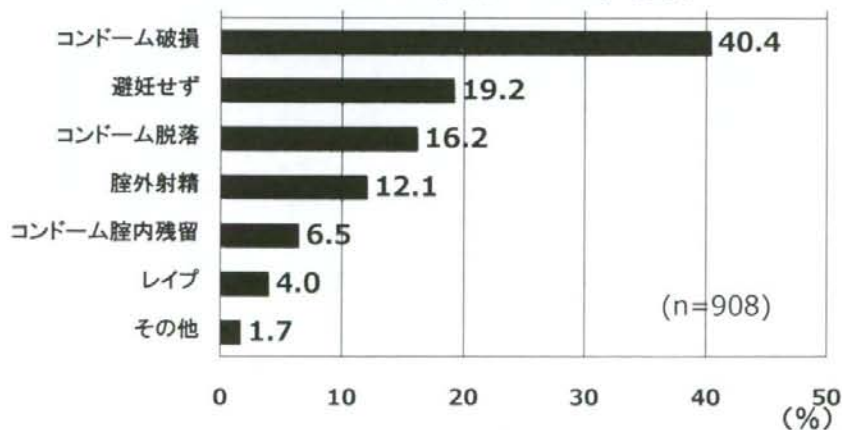


図19. 緊急避妊外来を訪れた理由
(日本家族計画協会クリニック)

(1998年4月～2008年3月末)



自由記載

人工妊娠中絶実施件数・実施率が減少したと思われる理由

北海道	ピルの普及
北海道	低用量ピル、中用量ピル
北海道	人口低下による影響
北海道	当院の実績で減少している
北海道	当院の中絶件数 平成 18 年 287 件 19 年 239 件 20 年 233 件(11 月まで) 20 年 4 月近隣の産婦人科閉鎖
北海道	日常の中絶手術件数が減少している
北海道	OC の処方量増加と、中絶手術の減少
北海道	避妊法の普及
北海道	当院における人口妊娠中絶の減少
北海道	避妊（ピル、アフターピル）の効果
北海道	OC の普及。EC の知識の普及
北海道	函館市発表のデータでも減少しているし、当院の実績も減少している
北海道	OC の普及。不況
青森県	実施件数が毎年減少してきている
青森県	ピルが普及しているため
青森県	低用量ピル、緊急避妊ピル、性教育
青森県	自院のデータより
岩手県	避妊についての知識がある程度認知されてきた。10 代の未婚者の妊娠率は横ばい
岩手県	当院では原則中絶は他院への紹介としておりますが、外来統計上も減少しております。理由は分かりません。
岩手県	中・高校生への性教育の充実
岩手県	性教育の効果と思っております。
宮城県	数の減少は数年前より感じていた。避妊の仕方が上手になったのかと思うが、STD は増えている
宮城県	OC の普及
宮城県	緊急避妊ピル、低用量ピルの普及の結果と考えられる
宮城県	中高校での性教育の実施の結果減少したと思われる。
宮城県	STD と関連し避妊の普及。性教育。セックスレス。少子化
宮城県	OC 服用者が増加している。コンドームの使用を意識している人が増加して

	いる
宮城県	EC、OCが普及しつつあり、その為中絶の件数が減っているのではないでしょう
宮城県	当院の現状からです。
宮城県	ECが周知されてきた
宮城県	望まない反復妊娠の指導を強く行っている
宮城県	ECの知識を持っている人が増えた。OCの普及
宮城県	OCやIUDの患者が増えたというよりは、緊急避妊法がよく知られるようになったこと、中高校生に対する制教育が多少なりとも効果を出してきたのではないかと
宮城県	当院での人工妊娠術件数が減少している
宮城県	OCや他の避妊法のおかげではないと思う。他の先生から聞いても減少しているそう
秋田県	OC、ECの普及。性教育の成果
秋田県	毎年統計を取っていますので、明らかに減少しております。
秋田県	月1～2件しか、中絶が無くなったので
秋田県	1) 妊娠可能婦人の減少 2) 少子化対策を折りにつけお願いしている
秋田県	当院での実数においてもそう感じています。
秋田県	OCの使用者増加
山形県	年々、中絶件数が減少している
山形県	ピルの普及（緊急避妊ピルも含め）が大きいのと思われます
山形県	OC、ECの認知度向上。性教育現場での啓蒙
山形県	OC、IUD等の知識が普及してきた。モーニングアフターピルの希望者も増加している
山形県	当院の実績により
福島県	それ程件数は多くありませんが、確かに減少しています。（産科部門ないためもあるかもしれません）。以前より避妊に関して注意するようになったのではないかと。特に低用量ピルが普及しつつあるのかもしれません。
福島県	手術予定の入らない日が増えてきました。10代は特に減少していると思います。
福島県	アウスがだんだん減っている
福島県	自院の手術数の減少。
福島県	人工中絶を止めたのでわからない
福島県	OC服用のため？
福島県	スキンの使用が普及、性行為の変化、多様化、膈外射精

茨城県	OCの普及が一因となっていると思いますし、小生はD&Cが好きではないため、OCについては説明を必ずしています。
茨城県	避妊に対する知識が高くなったためと、人中手術の金額が負担になる人が多いためと思われます。（既婚者や高校生などの学生）
茨城県	低用量ピルにより服用しやすくなった。月経困難症も有効とのことが普及し、服用に後ろめたさがなくなった
茨城県	避妊（OC等）のこと、妊娠に対する考えが以前よりしっかりしたためと思います。
茨城県	OCの普及傾向
茨城県	データを見せられればそう思う。当院では10代の中絶は少ない（親の同意を求めることが要因かも）
茨城県	①当院でも数が減っている ②72hピルが普及している ③OC服用者増加
栃木県	性教育の成果。OCの普及
栃木県	避妊薬、効果、安全 母親、本人の自覚 ネット利用者の増加
栃木県	当院に限っては減っています
栃木県	OCの服用
群馬県	OCやECの処方量の増加
群馬県	妊娠可能年齢の減少
群馬県	緊急避妊ピルの効果大と考える
群馬県	当院での実数も確実に減少している
群馬県	人口妊娠中絶実施数が減少している（報告症例ベースで）
群馬県	緊急避妊が増えた
群馬県	OC増加のため
群馬県	OCの普及。性教育。若者の性行動の沈静化
埼玉県	OCの普及
埼玉県	手術件数が減少している。Contraceptionが普及している
埼玉県	OC、ECが普及した
埼玉県	OCの普及
埼玉県	性教育がマスコミ等によって行われている。性感染症の知識が普及している。手術料が次第に上昇している。
埼玉県	外来での希望者が減っている
埼玉県	避妊についての知識が向上したのでは
埼玉県	OCの普及
千葉県	高齢化。OCの普及
千葉県	OCの普及

千葉県	OCの普及
千葉県	OCの普及
千葉県	自院でも明らかに減少している
千葉県	OC等避妊に対する本人の自覚。妊娠する人口の減少
千葉県	実際に減少している。
千葉県	避妊知識のレベルが上がった。OCとECが一般化した。
千葉県	避妊方法の認知度の高まり
千葉県	14歳～15歳の中絶は減ってない気がする。18歳以上は増加していない。EC希望者は増えている
東京都	中絶目的の患者が減った
東京都	OCの普及
東京都	ピルの普及？患者の意識の変化。
東京都	自院での患者減少
東京都	人工中絶現在中止中です
東京都	手術件数の減少
東京都	若年者の性に対する興味・関心の低下では
東京都	望まない妊娠をしないよう、妊娠したら産むように指導した結果
東京都	避妊のしかた、情報の普及
東京都	自院での件数減少
東京都	OC、避妊リングの普及
東京都	OC使用増加
東京都	OCが普及してきたから
東京都	若者に避妊に対する知識が高まった。
東京都	OCの普及
東京都	妊娠可能年齢人口の減少。ピル内服増加
東京都	紹介してAusしてもらっているが、その件数が減少している
東京都	中絶後のOC使用によって、中絶リピーターが減っている
東京都	OCの普及・緊急避妊の普及
東京都	OCの普及
東京都	OCの普及とECの知識普及
東京都	緊急避妊の認知。OCの普及
東京都	当院での中絶件数が今年に入り激減
東京都	若年層でのEC使用が増加しているためか
東京都	実際に手術数が減少しています
東京都	緊急避妊ピル、OCなどの情報が簡単に得られるようになった。避妊に対す

	る意識が変化してきた
東京都	OC の普及
東京都	中絶希望者の減少。OC の定着
東京都	中絶手術を行っている施設の増加。OC の普及
東京都	EC、OC の普及
東京都	緊急避妊の存在を知るようになった。OC の普及
東京都	手術件数が減少している。
東京都	子育ての支援による出産率の向上。OC の普及
東京都	中絶の相談件数が減少している
東京都	生理が来ない（なかつ妊娠反応陽性）という患者が確実に減少している
東京都	現実に減っている
東京都	妊娠できる世代の人口減少。妊孕性の低下（男性も女性も）
東京都	低用量ピルの普及、緊急避妊法の認知度が高くなっていることと使用率の増加、性交渉に対する消極性（出生率・中絶実施率もSTI罹患率も低下していることから・・・）
東京都	総患者数の激減
東京都	妊娠の患者さんの減少
東京都	避妊知識の普及
東京都	OC の普及。EC の普及。セックスレスの増加。性教育の効果
東京都	妊娠で受診し、中絶希望という患者が減っている
東京都	OC の普及。避妊教育の普及
東京都	リピーターが少なくなっている
東京都	OC の普及
東京都	低用量ピルの普及やアフターピルの普及が進んでいるためか。またはSTD予防のためのコンドーム使用の増加か？
東京都	インターネットの普及により、当院には各地方から来院される患者の割合が増加している。全体数はほぼ変化ないが、地域住民の中絶数は明らかに減少しているので、全体的には当然減少傾向にあり、他院はもっと実感しているのではと推測する
東京都	以前より減った印象
東京都	受診数が減っている
東京都	避妊法が上手に取り入れられているため
東京都	OC
東京都	日常診療の中で感じる
東京都	OC が普及してきたからだと思います。（インターネットなどによる）

東京都	自院での手術件数が減った
東京都	避妊に関する知識が入手しやすくなった
東京都	OCの服用
東京都	OCの普及。緊急避妊薬の周知
東京都	ピルの増加で妊娠が減った。
東京都	Te1での問い合わせ減少。OC利用者の増加。避妊指導の成果
東京都	避妊の知識の向上
東京都	緊急避妊ピルの普及。OCの使用
東京都	避妊法の普及。特にOC。ECの普及
東京都	OCの使用
神奈川県	緊急避妊、OCの効果が少しはあるのかもしれない
神奈川県	そう思うどころではなく激減です
神奈川県	若者人口の減少。セックスレスなど男女の関係が淡泊になっていること。 OCの普及ECの知識の普及
神奈川県	患者数が減っている
神奈川県	OC、EC。経済的不況
神奈川県	日常の診察で人工中絶希望者数が減少している
神奈川県	OC、緊急避妊ピルの普及、過去より現代の若者がいやがらず、コンドーム 使用しているように思われること
神奈川県	伝聞などからそう思う。当院では手術を行っていない
神奈川県	避妊がうまくいっていると思う
神奈川県	避妊知識の向上
神奈川県	手術件数が減少している
神奈川県	外来での中絶希望者が減少していると実感しています。
神奈川県	避妊が上手になったのでは
神奈川県	OCの普及
神奈川県	妊娠する年齢層の人口減少
新潟県	中絶に関する相談・希望者数の減少。緊急避妊法の相談希望者の増加。OC 使用者の増加
新潟県	中絶件数減少
新潟県	性教育の普及が減少に貢献したと思う
富山県	中絶可能施設の減少。
石川県	OC、ECの普及
石川県	OCの普及。若者の人口減少
石川県	OCおよび緊急避妊ピルの普及

石川県	OCの普及
石川県	手術が減少し、OC処方が増加しているため
石川県	当院でも減少している
福井県	避妊に関する考え方が変わってきた。緊急避妊の増加。
福井県	避妊法が若年層にも理解できるようになってきた
山梨県	コンドームの使用増加
山梨県	少子化
山梨県	中絶数が減少している
山梨県	OCの積極的処方およびECの普及
長野県	避妊の知識が定着した。技術（EC含め）の進歩
長野県	妊娠、避妊への啓蒙
長野県	避妊の知識が浸透している
長野県	10代の中絶は減っていると思うが、経産では変化なし。緊急避妊の普及か
長野県	自院で前年度より60%減少している。
長野県	OCの普及
長野県	自院でも数が減少している
岐阜県	望まない妊娠に対する啓発活動
岐阜県	OCの効果
岐阜県	できちゃった婚の一般化。OCの普及
岐阜県	OCの普及、ECの知識の普及
岐阜県	自院での中絶件数減少。EC、OCの啓蒙効果のおかげか
静岡県	避妊方法の普及やセックスレス夫婦が増えてきていることなども関係しているのではないかと考えています（実証はありません）
静岡県	妊娠そのものの減少
静岡県	若年の中絶の希望者がほとんどない
静岡県	OCなど
静岡県	避妊薬の服用が多くなってきている
静岡県	中絶施行数の減少
静岡県	OCを使用する人が増加したから
静岡県	避妊方法を熟知している（例えばOC）。時代の流れ
静岡県	妊娠可能年齢の低下による妊娠数の低下。避妊の指導。反復妊娠の低下。
静岡県	人工妊娠中絶を行う婦人科医の減少。OC、ECの普及。
静岡県	OCの普及。若い方の避妊への関心度の高まり
静岡県	当院での中絶手術実施数が減少している
静岡県	OCとECが知られるようになったため

静岡県	OC の普及
静岡県	OC の普及。自院での手術件数の減少。しかしここ1～2年は変わらず
静岡県	家族計画の知識。中絶料も高価になっている。M.A.P の症例が増えている
静岡県	ピル服用者・指導の増加。若年層でも分娩を選択するものが増えた
静岡県	避妊の知識が広まったか。ピル・コンドームの使用は増えていない
愛知県	低用量ピル・緊急ピルの処方
愛知県	少子化の問題。専門医の不足問題。OC の服用する人が多くなった。効果の上昇など
愛知県	OC、EC の普及
愛知県	緊急避妊、OC の普及
愛知県	自院での中絶が減少している
愛知県	OC の普及
愛知県	当院の中絶件数が減少している
愛知県	ピルの普及。ピル開業医の増加で以前の1/5位となっている。
愛知県	手術件数が少ない。ピルの普及
愛知県	世相がやや落ち着いてきたか
愛知県	基礎知識をもっている
愛知県	避妊知識の普及。緊急避妊ピルが利用しやすくなったこと
愛知県	OC の普及 IUD の普及。性教育の普及
愛知県	20代のとくに社会保険本人の女性の避妊知識、意識（男女関係の良好さ）が高まってきた。その中にOCを選択する人の増加もあること
愛知県	相談例が減少している
愛知県	中絶患者が減っている
三重県	妊娠可能年齢人口の減少。避妊の知識普及。
三重県	高額になったため。意識の上昇
三重県	自院でのAus件数が減少。近隣の先生方も同じ感想
三重県	中絶患者の減少
三重県	OC服用者が増えたため。緊急避妊の認知度向上
滋賀県	実数の推移
滋賀県	性活動の減少に伴う妊娠数の減少
滋賀県	緊急避妊ピルの普及
京都府	知識の普及（インターネットなどによる）
京都府	患者の減少
京都府	アフターピルの増加
京都府	OCの使用増加による

京都府	避妊の指導の成果
京都府	経済的な理由による受診抑制
京都府	OCや緊急避妊の普及。ドクターやコメディカルのとりくみ。セックスレス。
京都府	当院で分娩を取り扱わなかったことも影響していると思う
京都府	OCの普及
大阪府	人工中絶件数が減少している。OCふく用者が増えている
大阪府	セックスレスの増加
大阪府	ピル・緊急避妊ピルの普及のため
大阪府	OCの普及
大阪府	OCの普及。性教育の普及
大阪府	生殖年齢女性の減少。OCの普及
大阪府	OCの普及
大阪府	ピルが普及してきている
大阪府	性交に対する羞恥心がうすらぎ、女性が避妊に積極的になってきたのだと思う。
大阪府	OCの普及
大阪府	ECの啓蒙の成果
大阪府	OC服用者が増えたため
大阪府	中絶数の減少がみられる
大阪府	妊娠例の軽減。OCの普及。緊急避妊の普及
大阪府	緊急避妊の方法を知り始めた。SEXに対する興味の減少。OCの普及
大阪府	OCの普及。緊急避妊の周知。
大阪府	OCの認知向上
大阪府	自院の手術数の減少。
大阪府	OCを含む避妊知識の周知。人口減少
大阪府	OCの普及
大阪府	患者が減っている。
大阪府	避妊知識の普及
大阪府	自院での中絶手術の減少。10年前は100以上、近年は皆無
大阪府	EC、OCの増加。セックスレスの増加
大阪府	OCの普及。ECの普及。
大阪府	人工中絶件数の減少
大阪府	OCの普及と避妊の知識が普及してきている
大阪府	手術減少のため
大阪府	避妊知識の普及

大阪府	中絶経験者にOCを飲むよう指導したため
大阪府	OCの普及
大阪府	避妊に対する意識向上。セックスストレスの増加
大阪府	精子の減少。クラミジア等の骨盤内炎症の増加。娯楽の多様化（田舎ほど中絶率高い）
大阪府	若年者が少ない。低用量ピル
大阪府	OCの解禁
大阪府	患者自身が減っている
大阪府	周辺の施設から聞いても減少している
大阪府	EC、OCの増加
大阪府	ECピル及びOCの普及のため
大阪府	当院の費用が高い。OCの普及
大阪府	相談に来る人が減った。
大阪府	OCの普及
大阪府	OC、ECの知識が普及した。
大阪府	OCの普及
大阪府	OCのため
大阪府	避妊に対する認識の普及。OC、コンドームの普及。中高生への性教育の効果
大阪府	院内の実績で減少している
兵庫県	OC処方による
兵庫県	OCの処方は増加している
兵庫県	人口減少
兵庫県	確実な避妊法ができ、周知されたこと
兵庫県	受け入れ原則中止したため
兵庫県	避妊知識が向上したため
兵庫県	OCの普及、若手人口の減少、性行為の減少
兵庫県	OCの普及。避妊知識の学習
兵庫県	OCの普及
兵庫県	OCの普及。ECの情報普及
兵庫県	妊婦の減少
兵庫県	1か月あたりの件数が減少している
兵庫県	OCの普及。
兵庫県	手術減少のため
兵庫県	OCの普及。避妊の意識向上

兵庫県	近隣の医師の情報から
兵庫県	避妊の知識普及
兵庫県	人口減少。女性が賢くなった
兵庫県	避妊教育が進んでいる。ECの知識普及
兵庫県	OCの普及
奈良県	避妊法に対する理解が広まりつつある
奈良県	当院での手術件数の減少。OCの普及。
奈良県	ピルの普及、避妊知識の向上
和歌山県	OCの普及。インターネットによる情報が得られること。
和歌山県	当院でも中絶手術が減少。
和歌山県	避妊をうまくおこなっている
和歌山県	避妊法の普及
鳥取県	少子化
鳥取県	実施手術数が減少している
島根県	男性側の理解の増加。女性の力増大
島根県	取扱件数が減少している
岡山県	避妊知識の普及
岡山県	当院での中絶手術実施数が減少している
岡山県	OC、EC、教育が普及した
岡山県	若年妊娠で出産に至る例が割合多い。岡山県では。
岡山県	人口減少。OC、IUDの普及
岡山県	若年層の人口減少。OC、ECの普及
岡山県	避妊薬を含めた避妊法の普及
岡山県	避妊意識が高まってきた
岡山県	OCの普及が10代でも増加している
岡山県	OCの普及。性教育の充実
広島県	OC希望者増加。責任ある行動をとる患者が増加
広島県	OCの普及
広島県	相談件数が減っている
広島県	避妊指導を徹底している
広島県	OCのため
広島県	OCの普及
広島県	緊急避妊。OC処方
広島県	EC普及のため
広島県	自院で減少している。ECの普及。

広島県	当医院の実数も減少している
広島県	当院でも減少している
広島県	自院で中絶希望者が減少した
広島県	OC の普及
山口県	OC や緊急避妊ピルが、徐々にではあるが普及しているため。
山口県	避妊知識の向上。
山口県	実現場での手術件数が減少している
山口県	当院の実績で減少している。OC の処方数が増えていることを考慮すると、手術件数は減少傾向にあると考えられる
山口県	OC の普及
山口県	当院での中絶手術実施数が減少している
徳島県	当院での中絶数が減少している
香川県	若年者に低用量ピルの服用が増加してきているためと思われる
香川県	OC の普及
香川県	OC や IUD の普及。インターネットからの知識の獲得
愛媛県	当院でする人工妊娠中絶数が毎年減ってきている
愛媛県	避妊に対する知識の増加とピルの普及
愛媛県	一般的な性知識の普及。STD 予防に対する認識
愛媛県	OC の普及
愛媛県	OC と EC の普及
愛媛県	少子化による
愛媛県	OC の普及
高知県	月別件数減少している
高知県	EC の影響
高知県	OC 使用者の増加
高知県	中絶希望者が減少している
高知県	低用量ピルの普及
福岡県	避妊についての知識の向上
福岡県	性行動の減少
福岡県	経口避妊薬の普及
福岡県	単に当院での D&C をとりやめたためかもしれませんが・・・
福岡県	避妊についての教育及びメディアよりの情報普及
福岡県	pill の普及
福岡県	女性が強くなってコントロールするようになったためか
福岡県	中絶後 OC をすすめているからかもしれない